

**過去最高来場者数更新！
もどりガツオ祭に6000人**

10月20日、カツオふれあいセンター黒潮一番館で、「第9回土佐さがのもどりガツオ祭」が開催されました。昨年は大雨でしたが、今年は天気にも恵まれ、町内外から約6000人が訪れ、脂ののったもどりガツオを味わいました。

会場には、カツオのたたきやお寿司、干物、梨などの地場産品が並び、カツオ尽くしの「かつお御前」は、前売券が完売し、当日券も多くの方が買い求めていました。また今年も、幡多のアイドルライプや、アームレスリング（腕相撲）、抽選会など新しいイベントも加わり、ますますパワーアップ。餅投げにも大勢が参加し、大盛況に幕を閉じました。



小学生に大人気の「一本釣りゲーム」。会場には、先日の気仙沼Tシャツアート展で展示したカツオTシャツの一部をお借りしたものを飾っていました。

秋風にキルトひらひら

11月2～4日、入野松原で18回目となる「潮風のキルト展」が開催されました。天気に恵まれた今年は3日間とも屋外で展示。大小約60枚のキルトを見ようと、約2000人が訪れました。

大方・佐賀町民館のデイサービス参加者らが作ったキルトや、大方高校生の作品もあり、地元イベントに積極的に参加している様子うかがえました。

今年は、らっきょうの開花はまずまずといったところでしたが、秋晴れの空の下、らっきょうとキルトが風に揺れる姿は、見る人を和ませていました。



松原の木漏れ日の中、キルトを見ながら散策する来場者。自分の作品があると楽しさ倍増です！

浜瀬川流域で秋を楽しむ会

馬荷・大方橋川・御坊畑の3地区によるかきせ川地域づくり協議会が、11月4日、「地域の秋を楽しむ会」を行いました。

3地区で一緒に地域を盛り上げようと始めたこの催しは今年10周年。ウォーキングには約50人が参加し、御坊畑で芋煮を味わい、地元小学生らが作ったかかしを見ながら、片道約7kmの散策を楽しみました。旧馬荷小学校のイベント会場では、フラや太鼓の披露、足湯サービス、特産品販売などが行われ、例年以上の大勢のお客さんでにぎわいました。最後に、同協議会・川村渡会長が「地域の協力のおかげで10年続けられた。また新たな気持ちで続けていきたい」とあいさつ。これまでのお礼とともに、今後の継続に向けて協力を呼びかけました。



【投稿記事】

今年も盛大に！大井川で餅投げ

10月28日、大井川の嶋神社において、餅投げ奉納が行われました。前日は、地区の方々が朝からもち米を30kg蒸して、1000個ほどの餅を女性の方々が作りました。当日はあいにくの小雨の中、午後3時からという時間帯にもかかわらず、地区内外から50人近い方が集まりました。天候不良のため社殿の中の餅投げとなりましたが、投光機の光の薄明かりに照らされながら、役員さんからお餅とお菓子が投げられました。



小雨のため、社殿の中で行われた餅投げ。私も、カメラ片手に餅を30個ほど拾いました。

（大井川・津守正行さん）